

2010年度

科目名	宗教学講読A		
担当教員	貫名 讓		
配当	文財2・人社2	コード	54480
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	『仏説観無量寿経』にみる阿弥陀仏思想		
目的と概要	<p>阿弥陀仏思想が最も鮮明に表されている経典(お経)に、『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』があります。その中で『仏説観無量寿経』は、釈尊在世の時に王舎城で起こった事件を契機として説かれたものです。悪友の提婆達多にそそのかされた太子・阿闍世が、父である頻婆娑羅王を幽閉し、それを助けようとした母・韋提希王妃をも宮殿に閉じ込めてしまいました。その結果、頻婆娑羅王は亡くなります。我が子が父を殺すという惨劇の中で、韋提希は釈尊に救いを求めました。そこで釈尊は韋提希の求めに応じて教えを説きました。それがこの『仏説観無量寿経』です。</p> <p>内容は、まず精神を統一して浄土と仏などを観想する行が説かれ、次いで悪を止め善を修める行が説かれています。そして、これらの善行ができないものために最後に念仏の教えが説かれています。</p> <p>親鸞は、この点に注目し、釈尊の真意は観念の教えを説くところにあるのではなく、念仏の教えを説くところにあったのだと見ました。</p> <p>そこで授業においては、『仏説観無量寿経』を読みながら、阿弥陀仏思想の一端にふれてみたいと思います。</p>		
成績評価法	総合評価(出席状況・授業態度・課題提出)		
テキスト	初回の授業時に説明します		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：講義の概略</li> <li>2. 阿弥陀仏思想と『仏説観無量寿経』</li> <li>3. 王舎城における人間関係図</li> <li>4. 悲劇の始まり</li> <li>5. 精神を統一して浄土と仏を観想する行①</li> <li>6. 精神を統一して浄土と仏を観想する行②</li> <li>7. 精神を統一して浄土と仏を観想する行③</li> <li>8. 悪を止め善を修める行① 大乘の善</li> <li>9. 悪を止め善を修める行② 小乗の善</li> <li>10. 悪を止め善を修める行③ 世間の善</li> <li>11. 善行を積めないものための教え</li> <li>12. 念仏の教え</li> <li>13. その後の王舎城</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 課題</li> </ol>			